

平成25年度 運営方針と事業計画

高齢者事業
特別養護老人ホーム等

〔施設名〕 こぶし園

1 運営の基本方針

統合と分散 第7期（地域展開の強化と事業の整理統合）

(1) 地域包括ケアシステムをさらに拡充する。

(2) 施設分散を完了させ、各サポートセンターの利用を拡大させる。

(3) 在宅医療連携を強化する。

2 重点項目と具体的施策

(1) 新たなサービスの定着・拡充

ア複合型サービスの転換と病院・サービス付き高齢者向け住宅の連動をはかる。

小規模多機能型居宅介護事業所「サポートセンターオー大島」を訪問看護事業併設の複合型サービスに転換（定款変更必要なため遅れている）し、今年7月に民間事業者により開設が予定されている、大島地区のサービス付き高齢者向け住宅（当園で生活支援事業の受託と居宅介護支援事業所を併設予定）を活用した、病院（主に長岡西病院）からの退院モデルと施設待機者の転換モデルを構築する。

イ定期巡回・随時対応型訪問介護看護の周知と在宅医療・サービス付き高齢者向け住宅の連動をはかる。

長岡市内で川東西圏域（千手・表町・中島・神田・新町）川東東圏域（四郎丸・豊田・坂之上・川崎）でスタートする定期巡回・随時対応型訪問介護看護（いずれも当園が受託）と昨年度実施した在宅医療連携拠点事業（全国105カ所の一つとして当園が受託）との連動を強化し、さらに川東地区においての展開を目指す。また川東地区で開設されている民間のサービス付き高齢者向け住宅「ユニバーサルハイツ平島」（当園で生活支援事業の受託と居宅介護支援事業所を併設）と周辺のサポートセンター三和・千手・摂田屋との連動を図る。

ウ通所介護事業所の統合と小規模多機能型居宅介護事業への転換をはかる。

(2) 本体移動と増床

ア移動30・移動短期7・増床30を速やかに実施する

既存施設分散の最終段階（すでに美沢・千手・摂田屋・川崎に分散済み）として本体に該当するこぶし園30名（全て川西地区からの利用者）の喜多町への移動、および新規の30名（いずれも川西地区から選択）、さらに既存の7床の短期入所生活介護を合わせ、特養の本体としてだけではなく、川西地区の基幹施設を目指す。

イ隣接地域の関連サービス（小規模・複合型・配食・訪問介護・訪問看護・サービス付き高齢者向け住宅）との役割分担と連動を目指す。

上記基幹施設をベースに、深沢の在宅複合施設アネックスこぶし、アネックス関原、サポートセンター関原・上除・西長岡・大島、さらには大島のサービス付き高齢者向け住宅との有機的な連携を図る。

(3) (3)在宅医療連携

ア在宅医療連携拠点事業をさらに推進する。

昨年度の国指定事業である在宅医療連携拠点事業（全国105カ所）は川西地域を対象として実施し、開業医・歯科医・薬剤師など多くの関係者との連携が行われたところである。今年度はこの事業を川東地区にも拡大し、より広範囲な地域に連携拠点を整備する。

イ西病院・複合型・サービス付き高齢者向け住宅の運動モデルを創設し、他地域への拡大を目指す。

前記した複合型施設「サポートセンタ一大島」ならびサービス付き高齢者向け住宅、さらには川西地区のサポートセンターなどとの連携を強化し、地域包括ケアシステムとして在宅生活モデルの拡充を図る。

3 主な設備投資計画（※整備を予定している500万円以上の事業および投資金額等）

(1) 新規事業

なし

(2) 改修事業

なし